

平成22年度

大田原市の家計簿



平成22年度の大田原市の予算については、市の将来像である「住む人が輝き 来る人がやすらぐ 幸せ度の高いまち」の実現に向け、財政の健全性を確保しつつ、限られた財源の重点的、効率的な配分に努め、編成いたしました。

「大田原市の家計簿」は、この平成22年度の予算をもとに、皆さんに納めていただく税金や国・県からの支出金が、どのように使われるのか、どのような仕事にどのくらいお金が必要なのか、また、市の借入金(市債)や預金(基金)はどのくらいあるのかなど、大田原市の財政状況をお知らせするものです。

【目 次】

1 平成22年度の市の予算	1
2 平成22年度の一般会計予算	2
3 市民1人当たりの予算	4
4 平成22年度予算にみる1人当たりの経費	5
5 主な事業の予算	7
6 基金の状況	8
7 市債の状況	9
8 市債の残高	10
9 公債費の状況	11

1 平成22年度の市の予算

(1)一般会計 280億8,000万円

※ 皆さんからの税金を主な収入として市の大部分の仕事をまかっています。

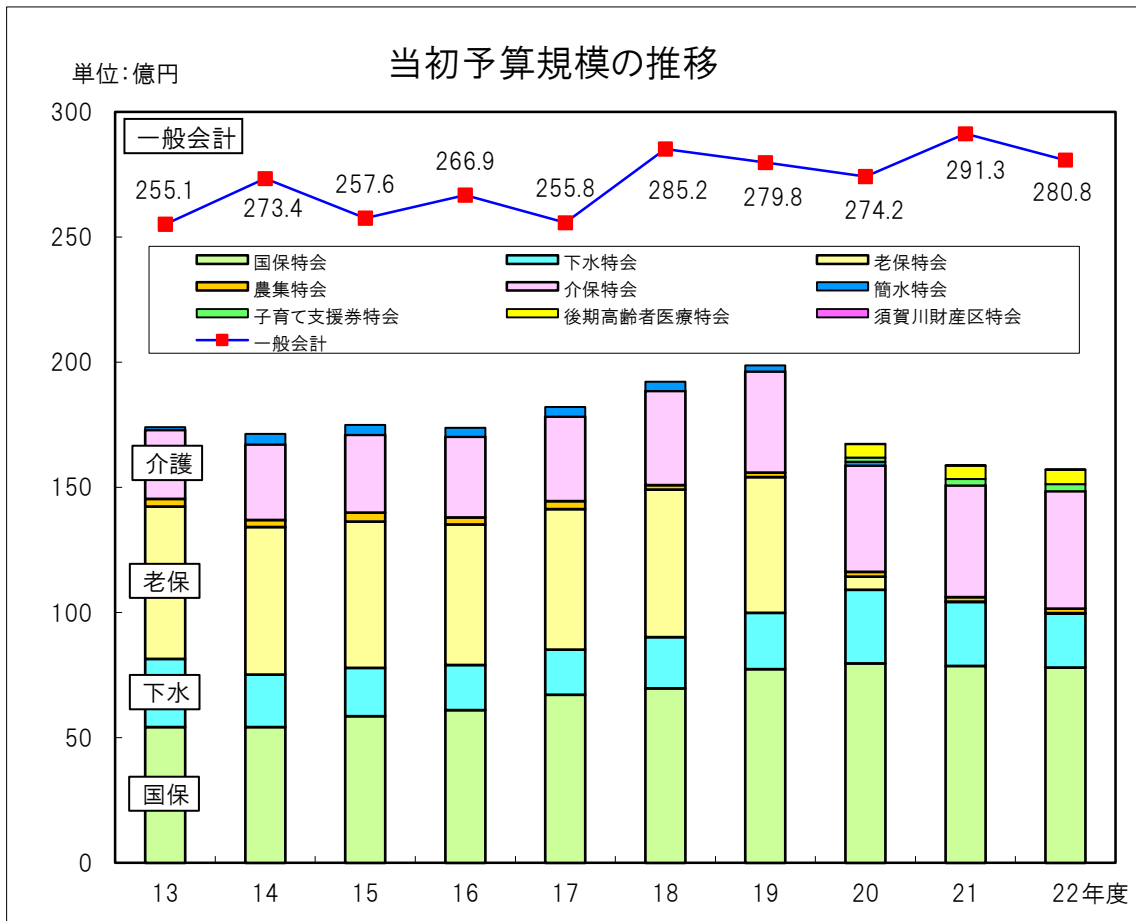
(2)特別会計 157億 965万円

国民健康保険事業費	78億1,000万円
下水道事業	21億6,200万円
老人保健	477万円
農業集落排水事業	1億8,050万円
介護保険	46億9,600万円
子育て支援券	2億7,900万円
後期高齢者医療	5億7,660万円
須賀川財産区	78万円

※ 特定の収入で特定の事業をまかっています。

(3)水道事業会計 25億2,274万円

※ 企業会計で経理されている会計です。



※ グラフ中平成13年度から17年度までは、3市町村の当初予算を合算しています。

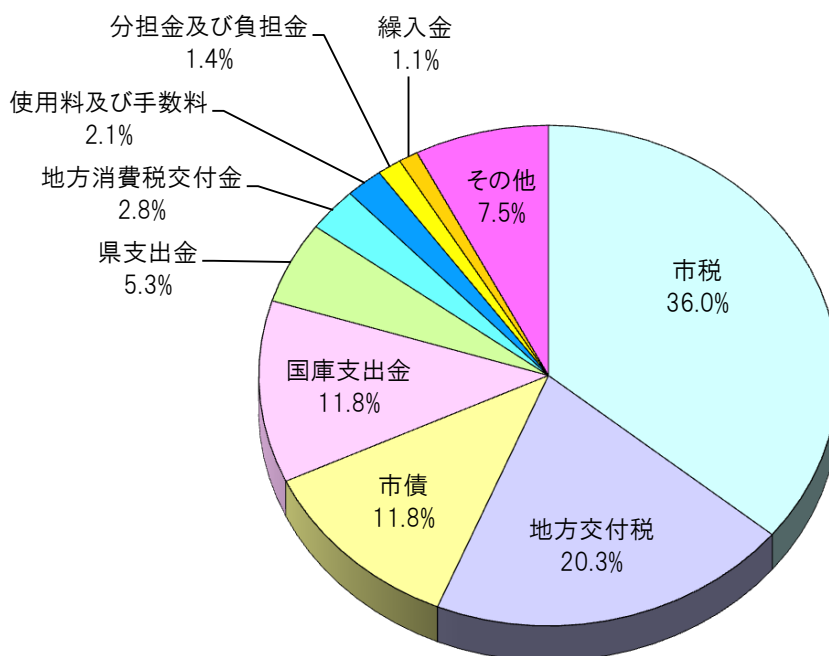
2 平成22年度の一般会計予算

一般会計には、市民の皆さんの日常生活に深く関わっている福祉、衛生、道路、教育などの仕事を行うための経費が計上されています。
平成22年度の予算は、280億8,000万円で、その内訳は以下のとおりです。

【歳入】

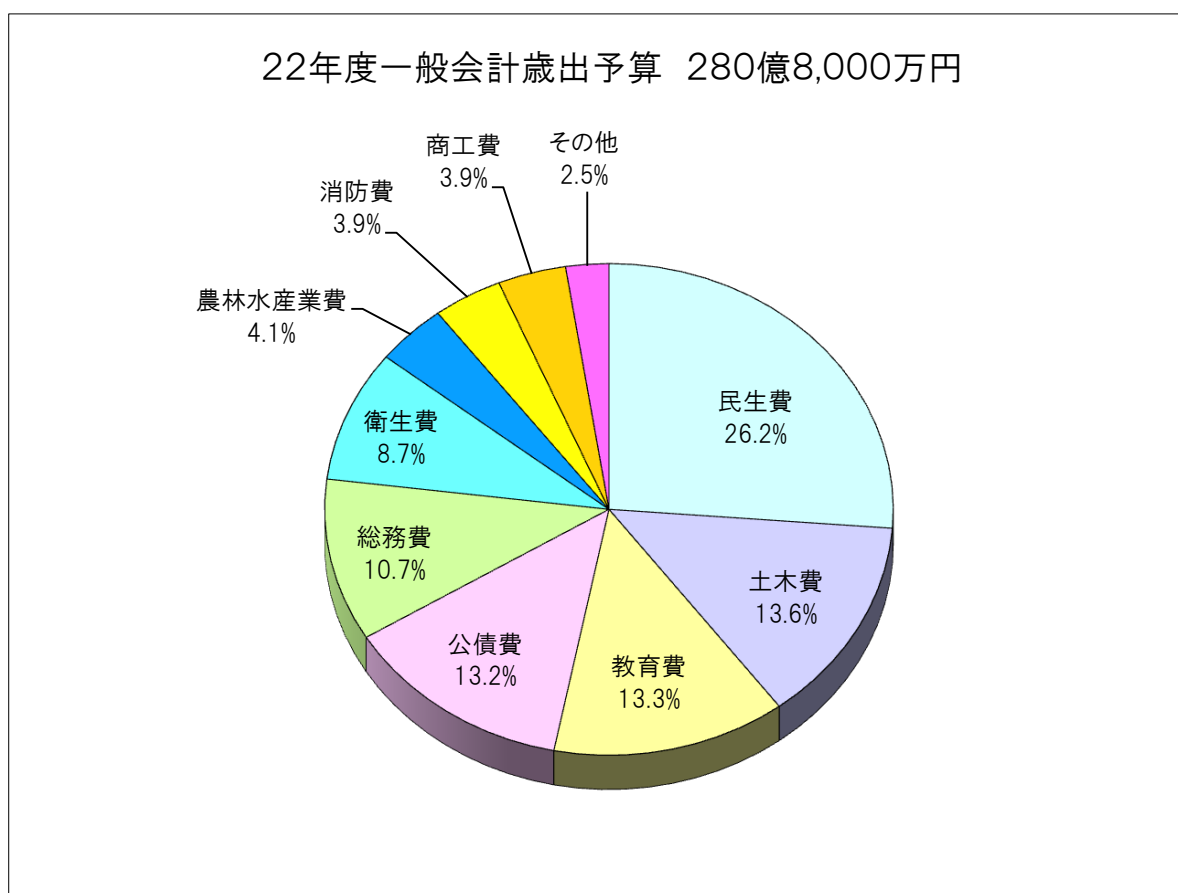
市 税	100億9,709万円	皆さんに納めていただく市民税(個人及び法人分)や固定資産税、都市計画税などの税金です。
地方交付税	57億円	全国の市町村がひとしく事務ができるように、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、国のたばこ税)の一定割合が、市町村の財政状況に応じ交付されます。
市 債	33億1,380万円	多額の資金を必要とする事業に対して、国や銀行等から借り入れるお金です。
(うち合併特例債)	(14億7,610万円)	合併市町村に配分される有利な借入金です。
国庫支出金	33億 401万円	道路の整備や学校の建設、社会福祉などの特定の事業に対して、国から支出されるお金です。
県支出金	14億9,230万円	特定の事業に対し県から支出されるお金です。
地方消費税交付金	7億9,500万円	地方消費税1%の1/2が市町村に交付されます。
使用料及び手数料	5億8,562万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
分担金及び負担金	3億7,968万円	他市町村からの負担金や、保育園児の保護者に負担していただくお金です。
繰入金	3億 400万円	基金(預金)から一般会計に繰り入れるお金です。
その他	21億 850万円	繰越金や財産収入、寄附金などのお金です。

22年度一般会計歳入予算 280億8,000万円



【歳出】

民生費	73億6,405万円	高齢者や幼児、体の弱い人などを援護する福祉向上のための経費です。
土木費	38億 737万円	道路や橋、河川、公園を整備したり、区画整理を行うための経費です。
教育費	37億4,141万円	小・中学校の教育を充実したり、文化・芸術、スポーツを盛んにするための経費です。
公債費	36億9,934万円	学校や道路、市営住宅などを建設するために借りたお金を返済するための経費です。
総務費	30億 65万円	市役所の全般的な仕事や税金の賦課徴収、戸籍事務、選挙事務などの経費です。
衛生費	24億3,520万円	皆さんの健康を守ったり、ごみやし尿を処理するための経費です。
農林水産業費	11億4,280万円	農業や畜産業、林業などを盛んにするための経費です。
消防費	11億 902万円	皆さんの生命や身体、財産を火災などの災害から守るための経費です。
商工費	10億9,190万円	商業や工業、観光などを盛んにするための経費です。
その他	6億8,826万円	議会費や労働費、災害復旧費などの経費です。



3 市民1人当たりの予算

一般会計の予算の総額280億8,000万円を平成22年4月1日現在における住民基本台帳人口74,089人で除して、市民1人当たりの予算に換算すると37万9,004円になります。その使いみちの内訳は以下のとおりです。

【歳入】

市税	100億9,709万円	(1人当たり	13万6,283円)
市税以外のお金	179億8,291万円	(1人当たり	24万2,721円)

【歳出】

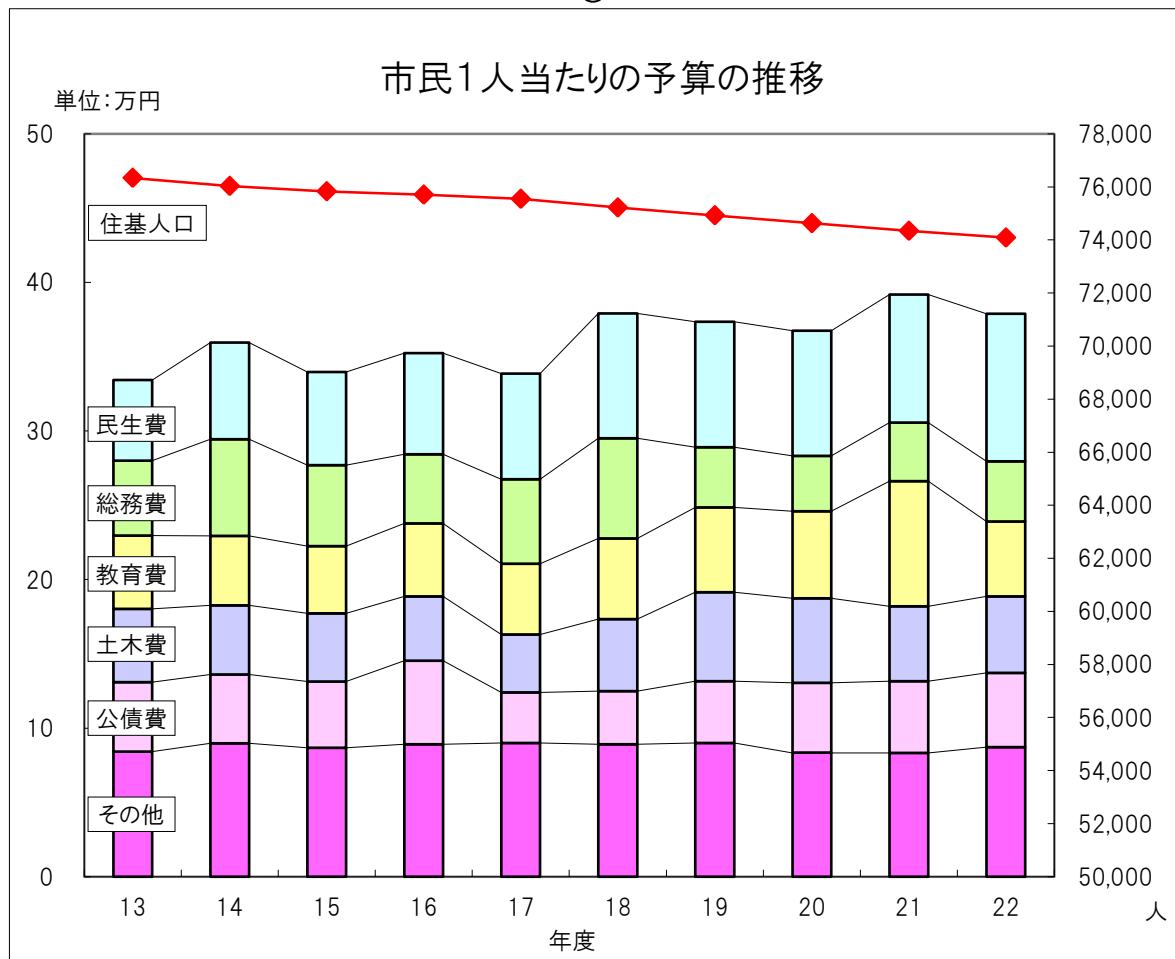
民生費	9万9,395円
土木費	5万1,389円
教育費	5万 499円
公債費	4万9,931円
総務費	4万 500円
衛生費	3万2,868円
農林水産業費	1万5,425円
消防費	1万4,969円
商工費	1万4,738円
その他	9,290円

1人当たりに使われるお金

37万9,004円

(参考)

1人当たりの個人住民税	4万4,152円
1世帯当たりの市税	38万8,604円



4 平成22年度予算にみる1人当たりの経費

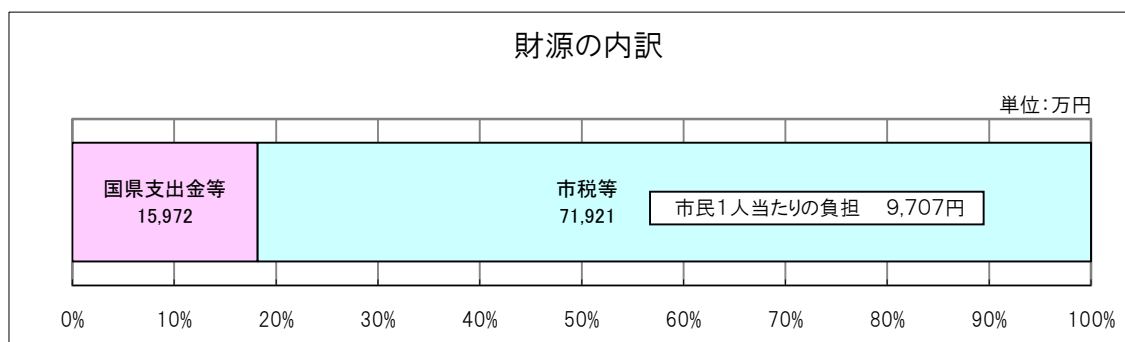
一般会計の予算のうちで、高齢者、保育園児、健康診査、ごみ処理及び小中学校児童生徒に要する1人当たりの経費については、以下のとおりです。

(1) 高齢者1人当たりの経費

5万3,764円

老人福祉費 8億7,893万円

65歳以上の人口 16,348人
(平成22年4月1日現在)



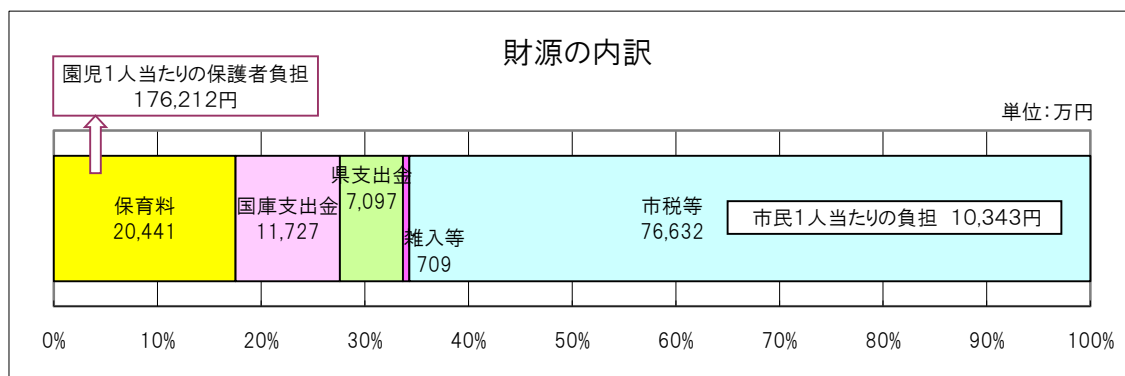
※ 介護保険に係る経費は含まれていません。

(2) 保育園児1人当たりの経費

100万5,225円

保育所費 11億6,606万円
(私立保育所運営費を含む)

園児数 1,160人
(平成22年4月1日現在)



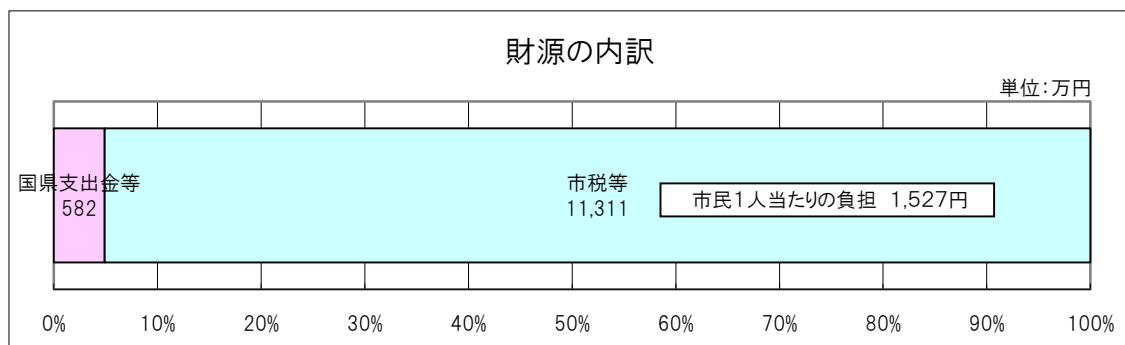
※ 須賀川児童館に係る経費は除いています。

(3) 健康診査に係る1人当たりの経費

7,771円

健康診査費 1億1,893万円

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者数 15,304人
(平成22年4月1日現在)

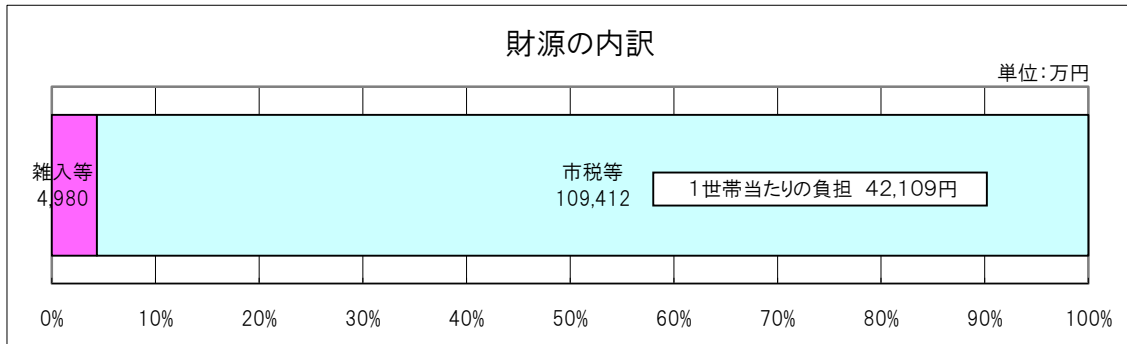


(4)ごみ処理に要する1世帯当たりの経費

4万2,109円

ごみ処理費 11億4,392万円

世帯数 25,983世帯
(平成22年4月1日現在)

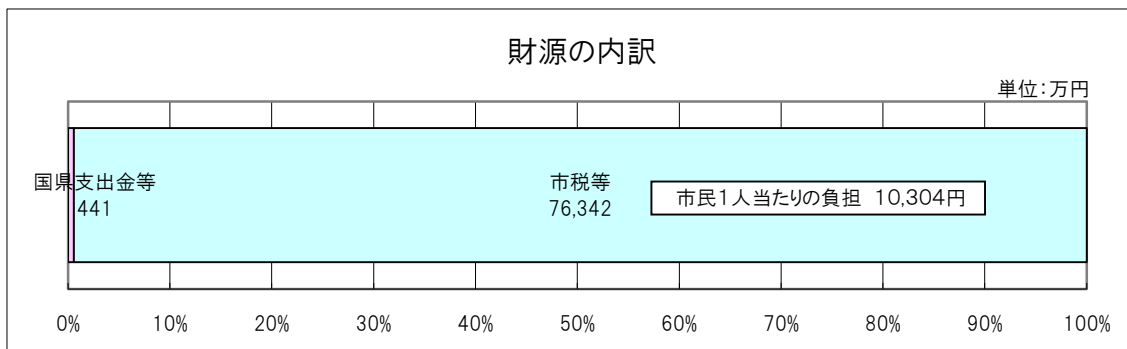


(5)小学生1人当たりの経費

18万1,993円

小学校費 7億6,783万円

小学校児童数 4,219人
(平成22年4月現在)



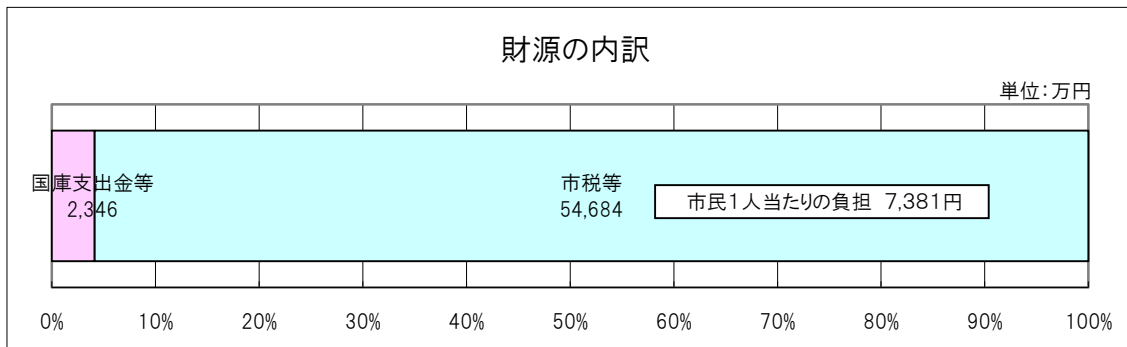
※ 耐震化事業に係る経費は含まれていません。

(6)中学生1人当たりの経費

26万7,748円

中学校費 5億7,030万円

中学校生徒数 2,130人
(平成22年4月現在)

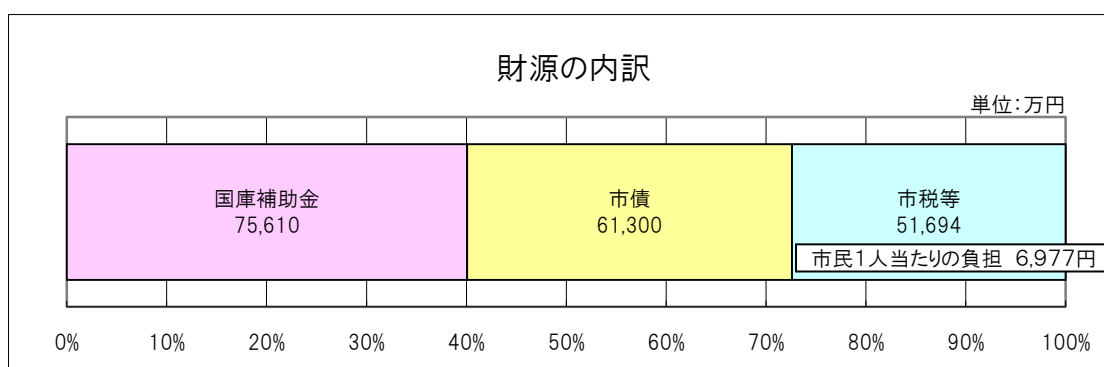


※ 平成22年度黒羽統合中学校校舎建設事業費1億4,200万円は含まれていません。
※ 平成22年度須賀川中学校大規模改造事業費1億1,920万円は含まれていません。
※ 耐震化事業に係る経費は含まれていません。

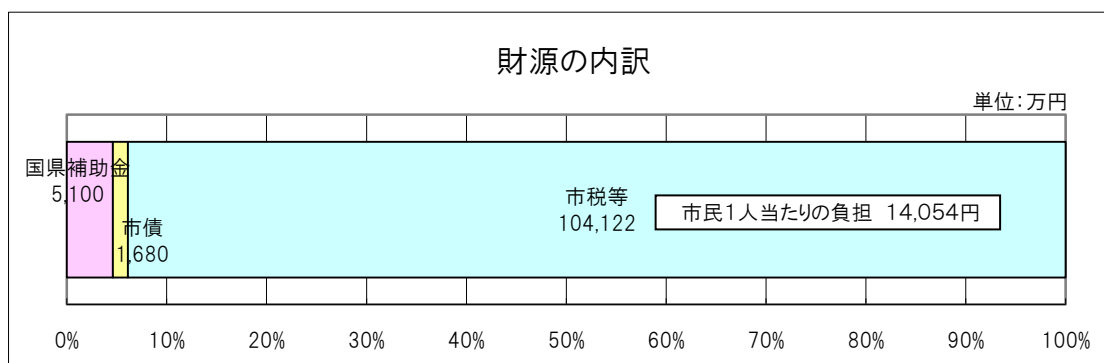
5 主な事業の予算

大田原市の予算のうちで、道路、消防、下水道に係る予算及びその内訳については、以下のとおりです。

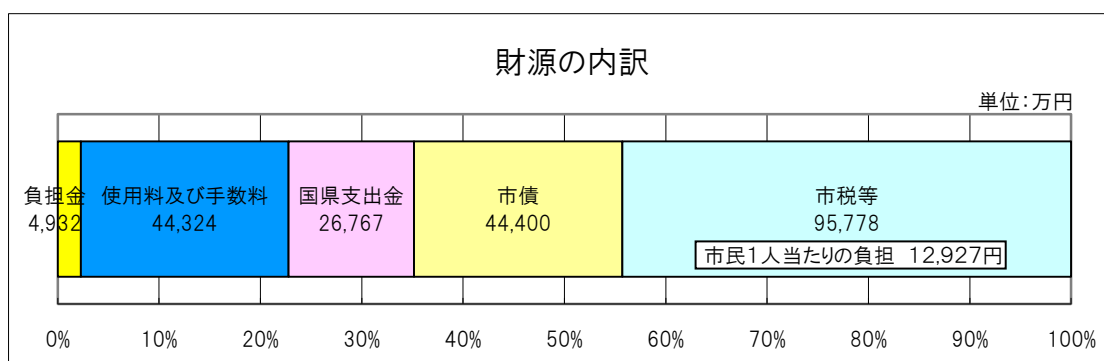
(1)道路	道路関係予算額	18億8,605万円
	(内訳) 道路維持	3億1,412万円
	新設改良	7億2,863万円
	街路	1億 1万円
	まちづくり交付金事業	7億4,329万円
	(野崎駅周辺地区整備事業費を除く)	



(2)消防	消防費予算額	11億 902万円
-------	--------	-----------



(3)下水道	下水道事業特別会計予算額	21億6,200万円
--------	--------------	------------



6 基金の状況

基金とは、ある目的のために銀行などに預金しておいたり、土地として持つことにより、必要なときに預金をおろしたり土地を処分(売払い)したりすることによって、皆さんのために活用するものです。

大田原市には、平成22年4月1日現在で18の基金があり、その内容は以下のとおりです。

財政調整基金	8億8,088万円	年度間のお金の調整を行い、健全な財政運営を行なうための預金
減債基金	1億1,040万円	市で借りたお金の返済を計画的に行うための預金
土地開発基金	現金・預金 4億7,870万円 貸付金 3億円 土地 92,831㎡	施設などを建設するための土地をあらかじめ購入することで、その事業を進めやすくするための預金等
奨学基金	8,560万円	高校生や大学生に対して奨学金の貸し付けをするための預金
あすなる基金	1億202万円	小学生や中学生の表彰と青少年の国内外の交流に関する事業を円滑に行なうための預金
大学誘致基金	1,302万円	大学などの高等教育機関の誘致を進めるための預金
スクラム基金	6億5,120万円	高齢者などの生活を援助するための預金
スポーツ文化振興基金	7,057万円	皆さんのスポーツや芸術・文化を振興するための預金
子育て支援基金	1,637万円	明日を担う子どもを、安心して生み、健やかに育てるための預金
中山間地域農村環境保全基金	1,221万円	中山間地域の農村環境を形成する土地改良施設等の保全事業を実施するための預金
合併振興基金	22億140万円	合併後の市民の連帯の強化と地域の振興に必要な経費の財源に充てるための預金
国民健康保険財政調整基金	3億8,509万円	国民健康保険事業を適正に行なうための預金
高額療養費資金貸付基金	802万円	一時期に多くの医療費を必要とする人に対して貸し付けをするための預金
国民健康保険出産費資金貸付基金	300万円	出産一時金の支給を受けるまでの間、出産に要する費用を貸し付けるための預金
介護保険財政調整基金	1億7,648万円	介護保険事業を健全に維持するための預金
高額介護サービス費貸付基金	100万円	多くの介護保険サービス費を必要とする人に対して貸付をするための預金
介護従事者処遇改善基金	1,121万円	介護従事者の処遇改善に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するための基金
須賀川財産区財政調整基金	2,004万円	財産区の健全な財政運営を行うための預金

※出納整理期間中(H22.4/1～5/31)に積み立てる予定のものを含んでいます。

7 市債の状況

市は、皆さんが納める税金を主な収入として、いろいろな仕事をしています。そのなかで、学校や道路などは、皆さんの子供の代まで利用できるものであり、その建設や工事にかかるお金も、それらを利用する住民の方にも負担していただくという考えで、一部に長期の借入れをしています。

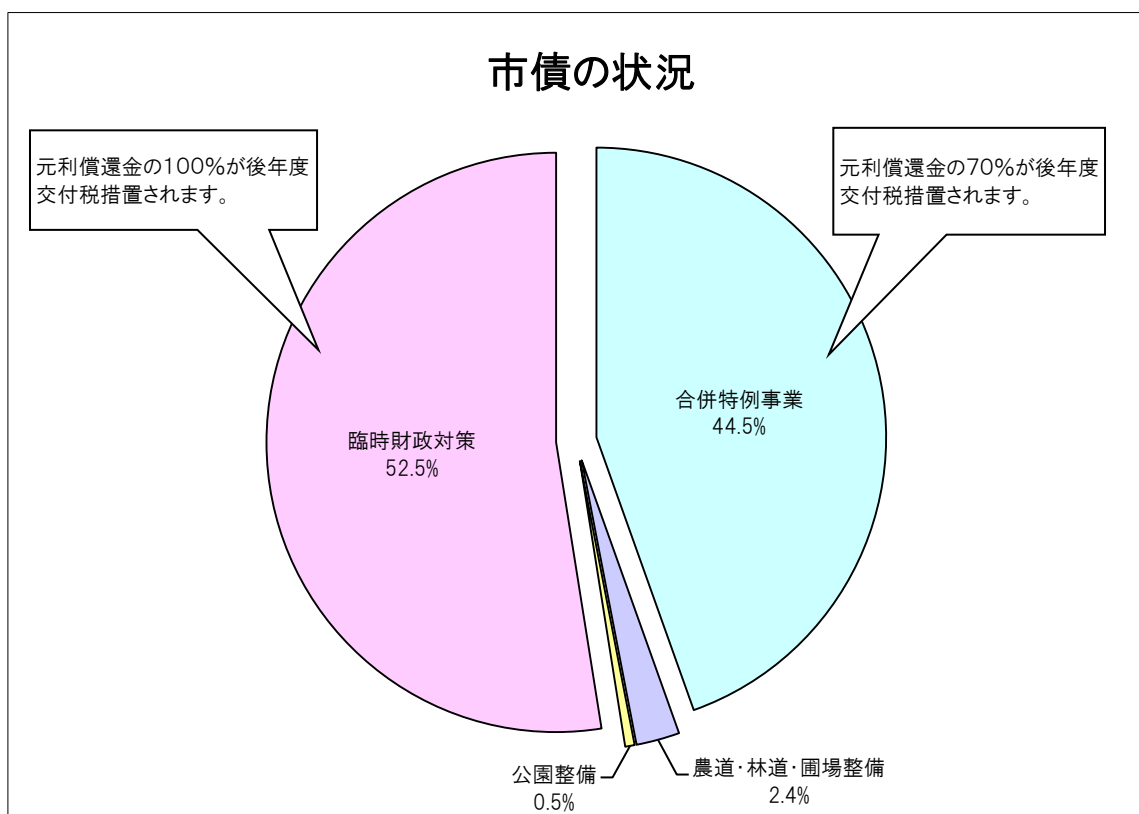
この借入金を市債といい、平成22年度は一般会計で33億1,380万円で、うち14億7,610万円が合併特例事業債という、合併市町村に有利なものを予定しています。

平成22年度の借入金を市民1人あたりに換算すると4万4,727円になりますが、国の財源不足を補てんするために市が借り入れる臨時財政対策債17億4,000万円を除くと(後年度、普通交付税で全額措置されるため)、市民1人あたりの実質的な負担額は、2万1,242円となります。

・ 合併特例事業 14億7,610万円

川上南方高齢者ほほえみセンター整備事業	大田原赤十字病院建設費補助事業
市道宇田川佐良土線外13路線の道路整備事業	野崎駅周辺地区整備事業
中心市街地活性化事業	消防施設整備事業
黒羽統合中学校整備事業	小中学校施設耐震化事業
須賀川中学校大規模改造事業	美原公園西原の池跡地整備事業

・ 農道・林道・圃場整備	8,030万円
・ 公園整備	1,740万円
・ 臨時財政対策(注)	17億4,000万円

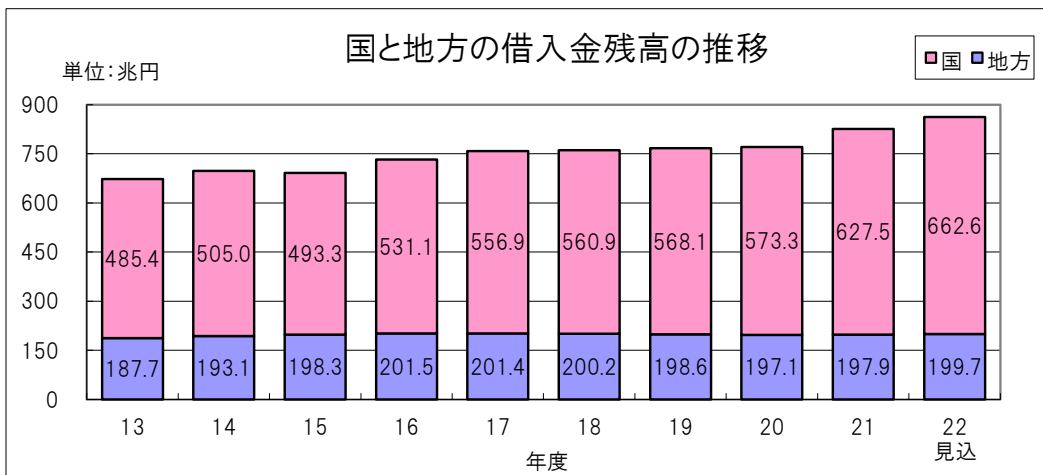
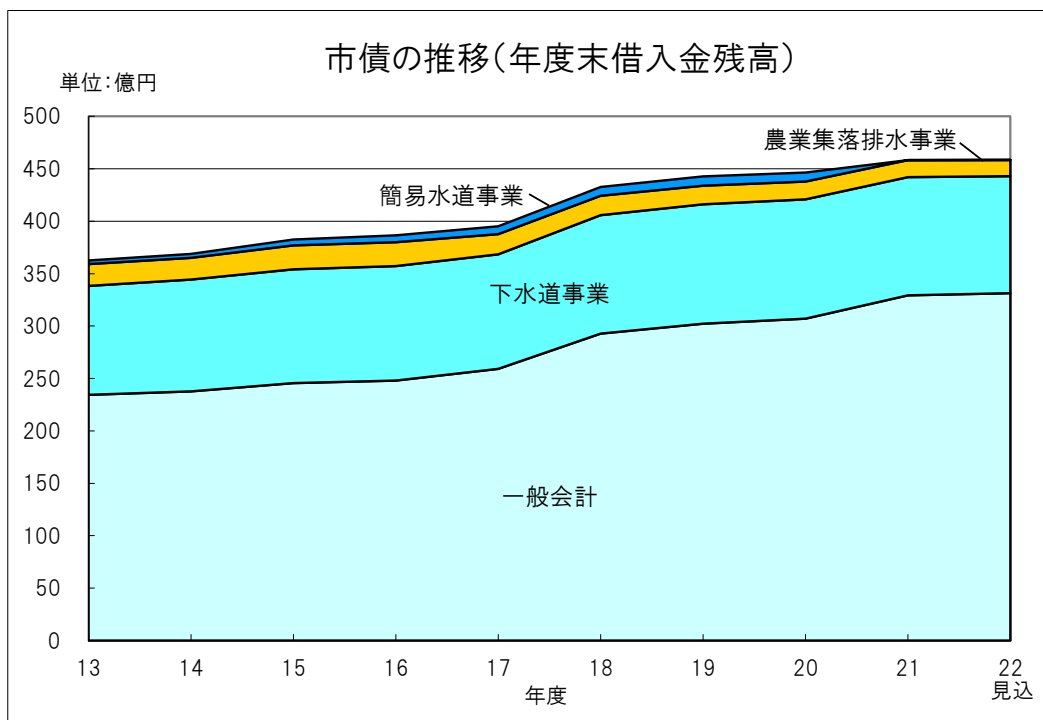
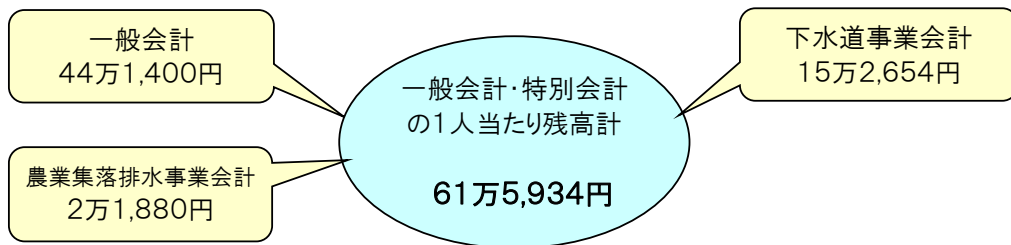


(注) 国税収入の減少による普通交付税の財源不足額を、それぞれの自治体が借り入れ補てんするものであり、後年度普通交付税で全額措置されます。

8 市債の残高

平成21年度末の一般会計における地方債の現在高は、327億291万円となる見込みであり、市民1人当たりに換算した額は44万1,400円となりますが、後年度普通交付税で全額措置される臨時財政対策債の残高を除くと、実質的な市民1人当たりの市債残高は、33万2,654円となります。

一般会計、特別会計の1人当たりの地方債残高見込(水道事業会計を除く)

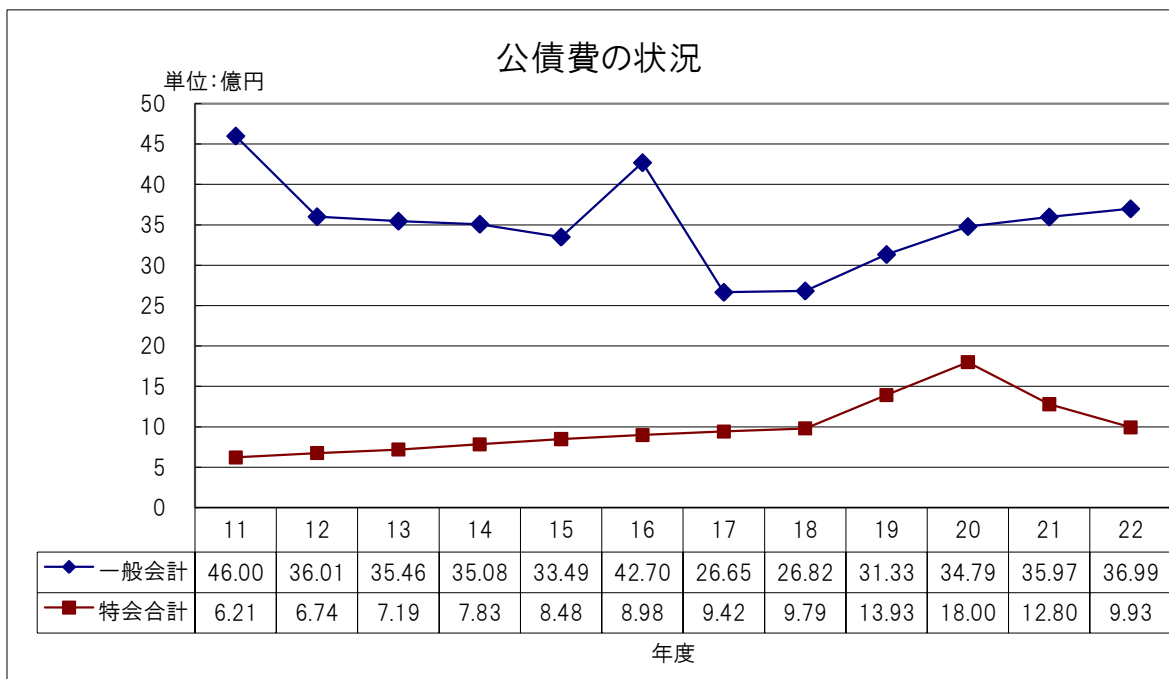
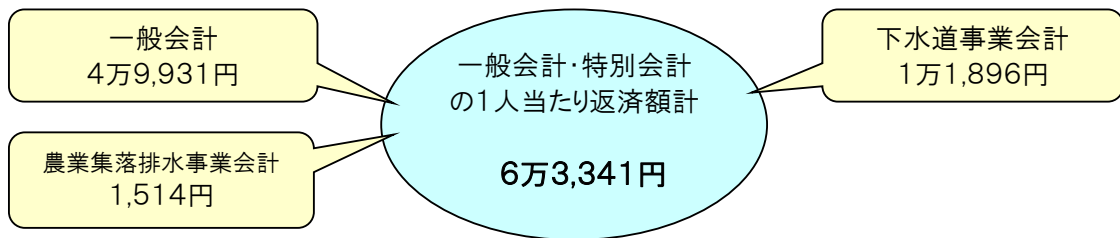


9 公債費の状況

市債は、その年度では収入ですが、将来に渡り元金に利息をつけて返済していかなければなりません。この市債(借入金)の返済金を公債費といいます。

平成22年度の一般会計公債費は、36億9,934万円で、市民1人当たりに換算した返済額は4万9,931円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの返済額(水道事業会計を除く)



H17までは3市町村の決算額の合算。H18からH20までは実績、H21は決算見込、H22は予算計上額です。

※ 平成11年度と16年度は一時的に公債費が増大していますが、それぞれ繰上償還や減税補てん債の借替えを実施したことによるものです。これにより大幅な利子の軽減となりました。



与一の里
大田原

お問い合わせ先

大田原市財務部財政課財政係

TEL 0287-23-8797

E-mail zaisei@city.ohatawara.tochigi.jp